

「みやざき版」少量農薬散布機の開発

茶栽培における防除コストを削減できる

背景・目的

病虫害防除を巡る以下のような諸課題に対する技術開発を行います。

- 安全安心な製品茶を求める消費者ニーズへの対応
- さらなるコスト削減を追求する生産者ニーズへの対応
- 環境への負荷低減等、社会ニーズへの対応

成果の内容

- 農薬散布量を大幅に削減することができる防除装置です。
- 微細なノズルと送風により少量の農薬で高い防除効果があります。
- 土着天敵を温存することで環境に優しい技術です。
- うね幅1.6m～1.8mの茶園に対応可能です。

・フレームを移動することで
1.6m～1.8mのうね幅に対応



(写真)：みやざき版少量農薬散布機



・2種類のノズルと送風口

・ノズル両端のコックで葉液の流出を防ぐ



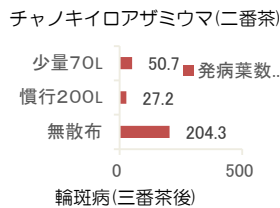
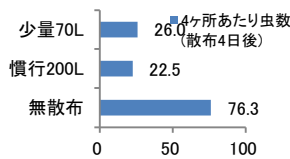
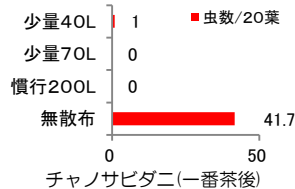
・うね幅1.6mの茶園での噴射
1.8m設定 1.6m設定



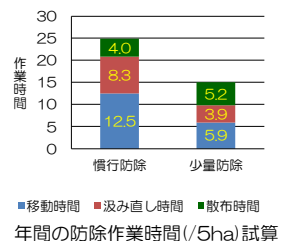
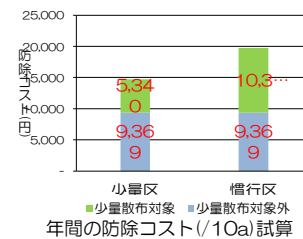
成果の活用方法(又は期待される効果)

- 従来の20～30%の散布量で慣行と変わらない防除効果があり、さらに散布量の削減が可能となるため、防除コスト及び防除作業時間の削減ができます。

病虫害の種類、発生量、芽のステージなどにより、散布量を調節することで40～130L/10aに削減可能



- ・農薬散布量の削減
- ・1回の給水で散布可能な面積が増大
- ・散布作業時間の削減



- 普及対象地域・面積 県内平坦茶園

留意点

- 本機の価格は510万円(税別、平成30年2月現在)、現行防除機の改造価格は、85万円程度です(問い合わせは、松元機工(株)まで)。

年間防除費用は約50～75%に削減可能
年間作業時間は約60%に削減可能